

1 安全にお使いいただく為に (安全の為に必ずお守りください。)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
 ■この説明書では手すりを安全に正しく取り付け頂き、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は下図のようになっています。

用語および記号、絵表記の説明

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。
 ⊘ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。
 ● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。

2 製品施工に関する注意

警告

禁止 施工時に商品仕様を変えるような加工をしない。
品質保証責任を負いかねます。仕様を変えるとケガをするおそれがあります。

禁止 屋外や浴室など、水がかかる場所や湿気が多い場所に設置しない。
変形などにより、手すりや部品が外れ、ケガをするおそれがあります。

禁止 柱や下地の強度が不十分な場合は施工しない。
手すりの外れ、転落・転倒の原因となります。ねじを打ち込み、下地がしっかりしていることを確認してください。(柔らかい木材や腐れ、虫食いなどがないこと)

○	PB厚み12 柱	合板厚み12 柱	PB厚み12 柱
×	・しっくい ・塗り壁 など	胴縁 ・化粧合板 ・PB厚み12など	PB厚み12 柱

必ず実行 必ず専用のねじで施工する。
手すりの落下などによりケガをするおそれがあります。

必ず実行 手すり固定ねじの取り付け間隔は455mm以内(端部から初めの固定ねじは150mm以内とする。)にする。
手すり本体が保材したり、転落・転倒事故の原因となります。

必ず実行 手すりの固定位置には、必ず柱または下地材があることを確認する。
※右図推奨下地

【木軸の場合】 構造用合板 厚み12mm以上 (幅200mm以上)

【LGSの場合】 鋼板 0.8mm以上 (幅150mm以上)

必ず実行 施工中に手すりを傷つけて、化粧シートが破れたり、めくれたりした場合は施工を中止し、速やかに補修依頼を行う。
そのまま使用すると、手を切ったり、ケガをするおそれがあります。

3 手すりの設置場所について

- 手すりの取り付け高さは床の位置から700mm~850mmが一般的です。(使用される方の使いやすい位置に設置してください。)
- 廊下に手すりを取り付けの場合は、廊下の幅寸法を厳守してください。

廊下の用途	廊下の幅	
	両側に居室がある廊下における場合	その他の廊下における場合
小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校における児童用又は生徒用のもの	2300mm以上	1800mm以上
非住宅 病院における患者用のもの、共同住宅の住戸若しくは居室の床面積の合計が100m ² をこえる階における共用のもの又は3室以下の専用ものを除き居室の床面積の合計200m ² (地階にあつては、100m ²)をこえる階におけるもの	1600mm以上	1200mm以上

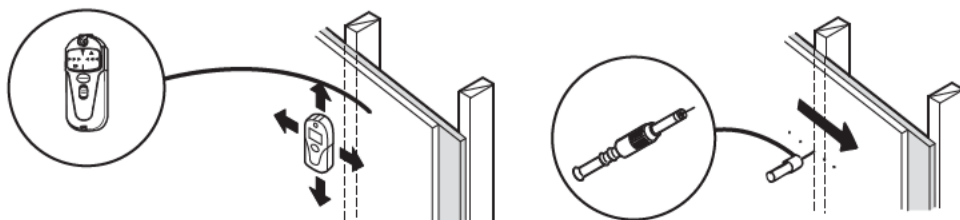
【建築基準法施行令第119条】で定められています。

4 下地材の確認

下地センサーや下地探し器などで下地材を探してください。

【下地センサーで探す場合】

【下地探し器で探す場合】



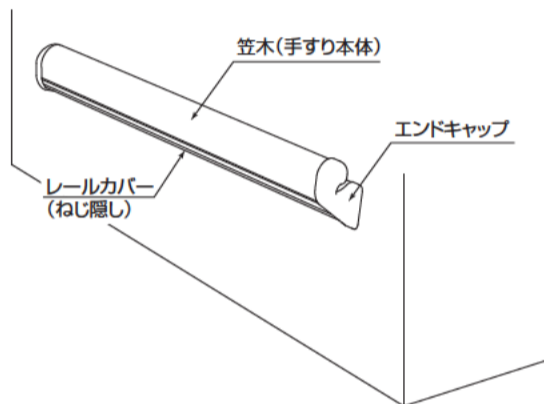
5 部材の確認

- 商品に梱包されている部品は下記の通りです。梱包の内容をご確認ください。
- 開梱したら、部材に損傷がないかご確認ください。
- ※躯体への取り付け後の損傷クレームについては責任を負いかねます。

名称・姿図	用途	数量
笠木	手すり本体	定尺：1m/2m/3m
レールカバー	ねじ隠しカバー	定尺：1m/2m/3m
エンドキャップ (FRエンドまたはDエンド)	笠木の端部カバー	2個
十字穴付 なベタタピンねじ 1種 呼び4×20	エンドキャップの固定	2個

6 施工方法

■製品概略図

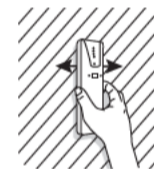


注意

お願い
笠木・レールカバー共に PVC (塩化ビニル樹脂) で構成されています。取り扱いには十分注意し、表面に傷や汚れが付かないようご注意ください。

6-1 下地の確認

取り付け部の壁の仕様、下地の状況を下地センサー等で確認してください

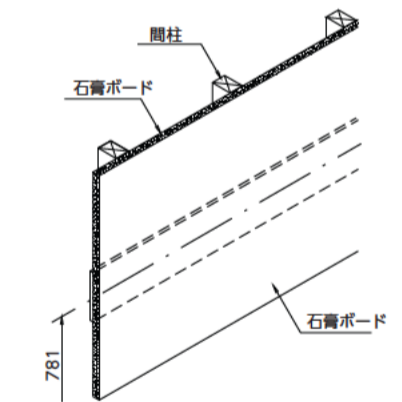
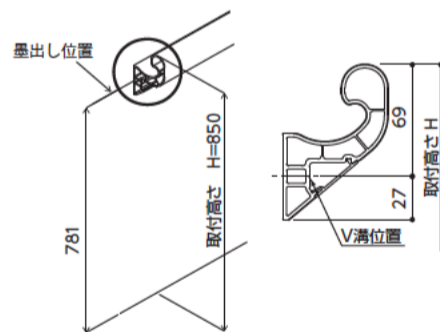


注意

必ず実行
壁の仕様、下地の有無によって固定方法が異なりますので、必ず確認をしてください。

6-2 墨出し

墨出しをします。



注意

本施工説明書は、笠木上端が床から 850mm の位置で、間柱に固定する場合の施工手順とします。
上記の寸法は標準寸法であり、現場施工図に合わせて位置出ししてください。

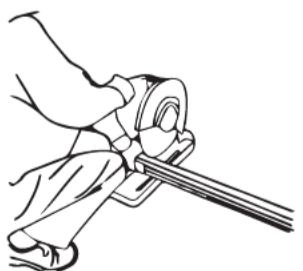
6-3 笠木およびレールカバーの切断

必要な長さに笠木およびレールカバーをカットします。

レールカバーは笠木の長さマイナス 2mm 程度で切断してください。

警告

必ず実行
切断面は必ず糸面取りを行ってください。思わぬケガの原因となります。



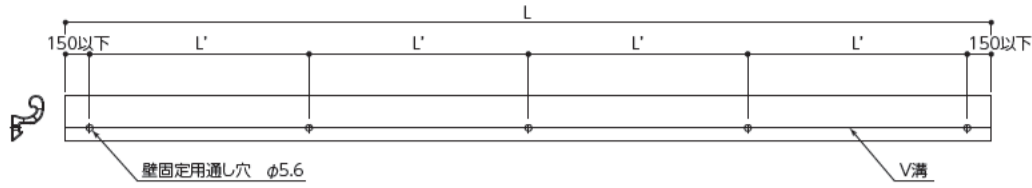
注意

お願い

- 直角に切断してください。目地の開きの原因となります。
- レールカバーを切断する際は、当て木をして切断するようにしてください。切断時に割れる可能性があります。

6-4 笠木の穴あけ

間柱の位置に合わせ、V溝に沿って壁固定用の通し穴(φ5.6)をあけます。
 その際、両端部から最初の間柱までを150mm以下、間柱間は455mm以下になるよう穴あけをしてください。



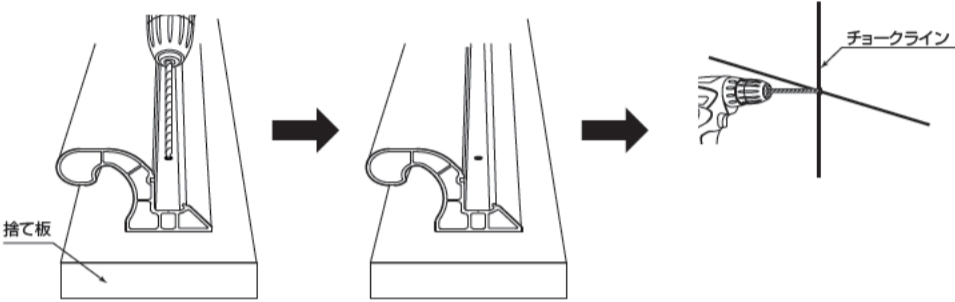
△注意

❗お願い

- 穴あけにはロングドリルを使用してください。電動ドリルがぶつかり、笠木を傷付ける原因となります。
- 切り粉やバリ等が残っていると、ガタツキの原因となります。綺麗に清掃し取り除いてください。
- 壁の仕様によって使用するねじが異なるので、使用するねじに適合した穴径にしてください。

6-5 壁の下穴あけ

笠木の下面をチョークラインに合わせ、笠木の端面をエンドの位置に合わせます。
 ベースの通し穴(φ5.6)をガイドに、壁固定用のねじ(呼び5)の下穴(φ3.2推奨)をあけます。



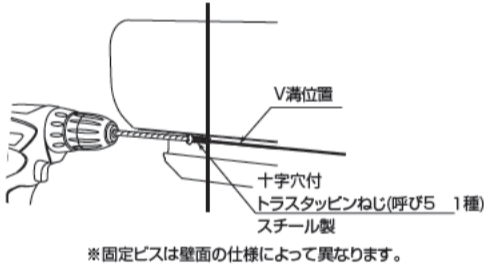
△注意

❗お願い

- 壁の仕様によって使用するねじが異なるので、使用するねじに適合した穴径にしてください。
- 必ず手すりの下に板を置いて穴あけをしてください。床を傷付けるおそれがあります。

6-6 笠木の取付け

壁固定用ねじ(呼び5)で固定します。
 笠木裏面に両面テープを貼り付けて、剥離紙をはがしてください。
 V溝をチョークラインの位置に合わせます。
 壁面にあけた穴位置と下穴の位置を合わせて、壁面固定用ねじ(呼び5)で固定します。



△注意

❗お願い

笠木を傷つけないように注意してください。

△注意

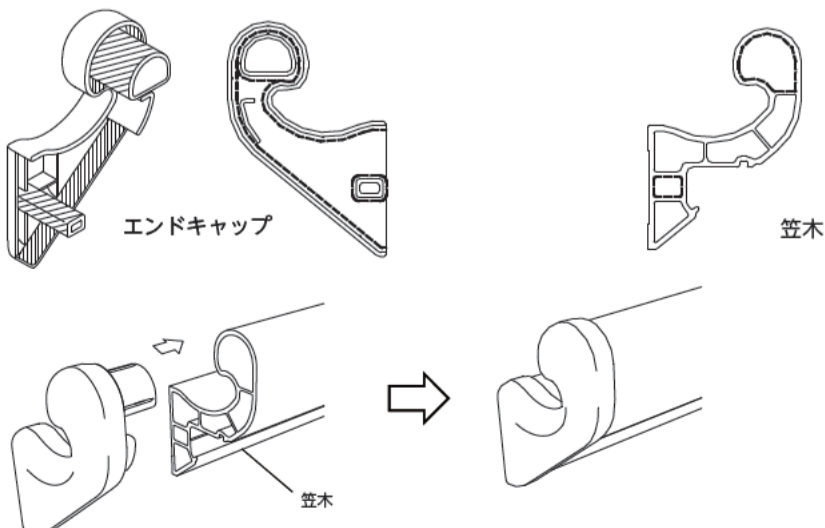
❗お願い

- 笠木に両面テープを貼る際は、貼り付け面をきれいにしてから貼り付けるようにしてください。
- インパクトドライバーで目一杯締め込むと、ねじ山が崩れるため、固定の際は十分注意してください。
- 壁の仕様によって、使用するねじが異なります。

6-7 端部の取付け

笠木とエンドキャップの所定の位置に接着剤を塗り、隙間ができないように奥までしっかりはめこみます。その後、笠木とエンドキャップを必ずビス固定してください。
 なお、接着剤が固まるまで養生テープで笠木とエンドキャップを固定しておいてください。
 ※施工方法はFRエンドの例ですが、Dエンドの場合も同様に取り付けてください。

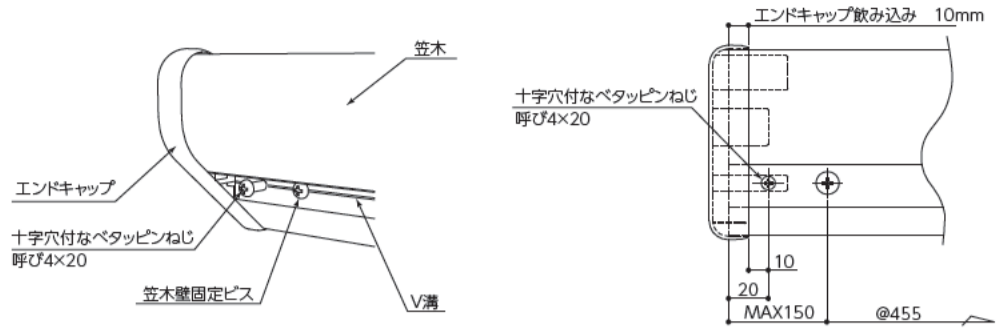
【接着剤塗布位置参考図】 点線、及び斜線部に接着剤を塗布して下さい。



※短スパン(笠木長さ500mm以下)の場合は、片方の端部のみ取り付けて6-10へ進んでください。

6-8 エンドキャップのビス固定

エンドキャップが笠木の奥までしっかりはめ込んでいることを確認してからビス固定を行ってください。笠木とエンドキャップに下穴(φ3.2)をあけて、十字穴付なベタツピンねじ(呼び4×20 1種SUS)で固定します。



△注意

❗お願い

- 笠木とエンドキャップの接着面は必ず清掃を行い、ゴミ・ほこりの除去を行ってください。油が付着している場合には、アルコール等で脱脂を行ってください。
- はみ出した接着剤はすぐに拭き取ってください。変形や汚れの原因となります。

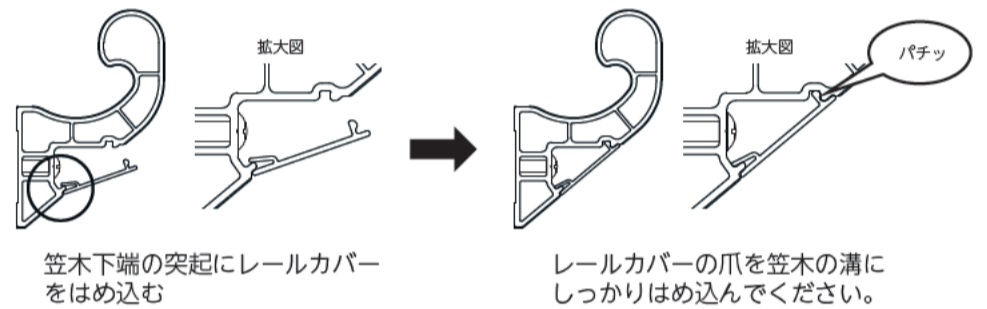
6-9 レールカバーの取付け ※長スパンの場合(笠木長さ500mm以上の場合)

手すりの溝部分にレールカバーを取り付けてください。
 長スパンの目安は、500mm~2,000mmとしてください。

△注意

❗お願い

長スパンの場合のレールの取り付けは、必ず両端のエンドキャップをはめ込んだ後に取り付けてください。



❗ポイント

レールカバーは端から順番に取り付けてください。
 ※部品の飲み込みがある場合、必ず端部からはめていくようにしてください。

△注意

❗お願い

レールカバーはパチッと音がするまでしっかりはめ込んでください。また、はめ込んだ後にガタツキやはめ込み不良が無いかな必ず確認を行ってください。

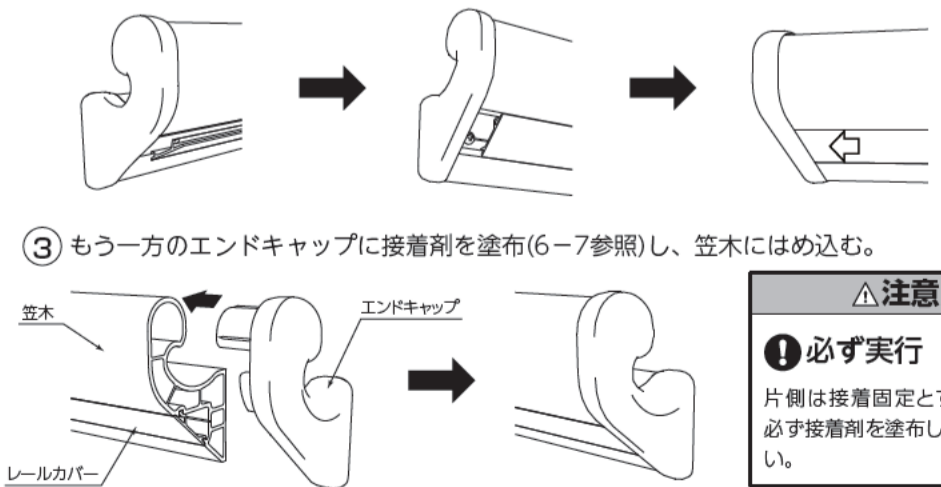
6-10 レールカバーの取付け ※短スパンの場合(笠木長さ500mm以下の場合)

短スパンの目安は、500mm以下としてください。

【短スパンの場合の流れ】

片側のエンドキャップ取付 → レールカバー取付 → 残りのエンドキャップ取付

- ① 片側のエンドキャップをはめ込み、6-8を参照しビスで固定する。
 ※6-7同様に接着剤を必ず塗布してください。
- ② レールカバーを笠木にはめ込む。
 ガタツキ等の無いようにしっかりはめ込んだ後に、エンドキャップの方へスライドさせる。



- ③ もう一方のエンドキャップに接着剤を塗布(6-7参照)し、笠木にはめ込む。

△注意

❗必ず実行

片側は接着固定とするため、必ず接着剤を塗布してください。

※セット製品以外の施工説明書は、営業担当までご用命ください。

お問い合わせ先は、こちらまで

ナカ工業株式会社
 URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>



左のQRコードを読み取りアクセスしてください。